

腎不全を生きる VOL.28, 2002

オピニオン 「患者さんのため」から「患者さんとともに」

◆日本大学大学院 高橋 善2

インタビュー 現在の透析医療において何を改善すべきか、出来るのか？

◆【語り手】国立国際医療センター 斉開忠樹

◆【聞き手】東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科、神奈川県衛生看護専門学校付属病院 川口良人4

透析医療をささえる人びと① 私たちはこのように患者さんを支援しています

◆三上祐子・木暮ひろみ・杉村昭文・植松節子・佐中 孜（司会）13

患者さんの座談会②

(1) これからの透析生活を前向きに考えるために——若くして導入された患者さんの集い

◆市岡知夏・原科真吾・原科真帆・鈴木英範・渡邊有三（司会）27

(2) 患者会の活動の現況と今後の展望

◆浅岡重夫・小林孟史・吉川敏夫・栗原 伶（司会）43

透析者フォト “元気で働いています”56

患者さんのための腎臓病学入門講座③ 自分に合った透析方法を自由を選ぼう

◆岩瀬クリニック 平野 宏60

患者さんからの質問箱

◆熊本中央病院 福井博義（回答）71

透析室勤務のスタッフから患者さんへの提言④

(1) 患者さんに考えていてもらいたいこと——自分の命の行く末を自分で決める

◆札幌北クリニック 大平健爾76

(2) お弁当と透析時間

◆大阪府立病院 菅原美治81

日本腎臓財団のページ88

賛助会員名簿92

編集後記

◆大平整爾100

表紙 イラストレーター 杉田 豊